

## 冷たい風

冷たい風 頬を撫でる  
遠くの空 澄み渡る  
白い息が 言葉包む  
肩すぼめて歩く

木の葉は静かに落ちて  
眠りの支度始める  
よく見ると稜線のような  
この街見渡す

静けさを連れてくる  
冬の訪れ の奥に  
どこか心の深くに  
何か影を落とす

冷たい風 頬を撫でる  
遠くの空 澄み渡る  
白い息が 言葉包む  
肩すぼめて歩く

川面に映る光は  
細く短く揺れている  
鳥達の声もやがて  
小さくなつてゆく

けれどこのまま  
うつむいているだけでなく  
新しい芽吹きの  
季節 待ち続ける

冷たい風 頬を撫でる  
遠くの空 澄み渡る  
白い息が 言葉包む  
肩すぼめて歩く